

予算

平成26年度 鹿児島県立曾於高等学校
開校式・第1回入学式

万円

の減)

18歳まで医療費無料化!!

1億888万円



3 高校合同による歓迎演奏

3月定例会は、2月20日に開会し、3月26日までの35日間の日程で開かれました。

定例会では、平成26年度当初予算や平成25年度予算の補正に関するものの他、曾於市子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定など議案37件、承認1件、報告1件、陳情1件を審議・議決しました。

平成 26 年度一般会計 209 億 4,000 万円

前年対比△4.2%（9億1000万円）

当初予算

☆平成26年度一般会計
予算

（賛成多数 可決）

本年度の一般会計当初予算は、平成25年度当初予算に対して、9億1千万円、4.2%減の209億4千万円となりました。

このうち自主財源は、歳入全体の23・6%にあたる49億1千万円です。自主財源の中心は市税28億5千万円、次に繰入金11億2千万円、使用料及び手数料2億8千万円、分担金及び負担金2億4千万円です。

また、市税収入のなかで大きいのは、固定資産税14億8千万円、市民税10億3千万円です。

このなかで固定資産税は市にとってはもつとも頼りとなる税収入です。26年度は前年度

に比べ1.1%の増です。

固定資産税収入の内訳は、家屋分7億5千万円、土地分3億9千万円、償却資産分3億1千万円です。

歳出の主なものは、人件費が前年度に対して5.1%減の29億6千万円です。

総務費はマイナンバー制に伴う電子計算機システム管理費、自治会振興費が主な事業であり、パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業や基金積立金の減により、23・4%減の19億4千万円です。

民生費は障害者福祉サービス保育所運営費等の増により、1.8%増の68億8千万円です。

土木費は住宅建設費等の増により、5.3%増の22億7千万円です。

公債費は元金の増により、2.1%増の30億2

千万円となっています。なお、当初予算については、子ども医療費助成金について修正案が提出されたが、賛成少数で修正案は否決されました。

特別会計

☆平成26年度国民健康
保険特別会計予算

（全会一致 可決）

単年度赤字の改善を図るため、支払準備基金から3千万円、一般会計から市単独の繰入金を1億2千万円繰入れ、予算総額は前年度比1.4%増の62億5千万円です。

医療費の引き下げのためには、特定健診の受診率の向上で、健康づくりへの意識高揚と収支両面の経営改善が課題です。

☆平成26年度後期高齢
者医療特別会計予算

（賛成多数 可決）

平成26年度から27年

度の保険料率を所得割率9・32%、均等割額5万1500円とし、年間平均の被保険者数を8697人として保険料等を見込みました。

☆平成26年度介護保険
特別会計予算

（全会一致 可決）

年間平均の1号被保険者数を1万3747人（90人増）として介護給付費等を見込み、予算総額は、前年度比2.5%増の50億7558万8千円です。

☆平成26年度生活排水
処理事業特別会計予算

（全会一致 可決）

5人槽40基、7人槽9基、10人槽1基の計50基を設置する計画です。

☆平成26年度公共下水
道事業特別会計予算

（全会一致 可決）

計画処理面積370haを200haに計画変

更し、平成26年度までに面整備を完了する予定です。

☆平成26年度笠木簡易水道事業特別会計予算

(全会一致 可決)

笠木地区の4地区について、平成26年度から3ヶ年で施設を整備し、完了した地区から順次給水を開始予定です。

☆平成26年度水道事業会計予算

(全会一致 可決)

本年度は、水道管布設工事が大隅上水の上勢井地区、竹山地区、末吉上水の丸山地区、高松地区、村山地区、六町地区、末吉簡水の小倉地区、布設替工事が財部水道の正ヶ峯地区、中須地区、末吉上水の住吉地区、大隅南簡水の荒谷地区が計画されています。

☆平成25年度一般会計予算の補正

(全会一致 可決)

今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる精算的なものによる増減が主なものです。歳入については、平成24年度の国の補正予算による地域の元氣臨時交付金の追加、事業費の確定等による県支出金や市債等の減、財源調整による財政調整基金等の繰入金の減、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。歳出については、事業費の確定及び執行見込みによる各事業費の減、県営畑地帯総合整備事業負担金等の県営事業負担金の追加、後年度の公債費負担を減らすための市債元金の繰上償還の追加が主なものです。

条 例

☆曾於市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例

の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部が改正されることにより、消防団員の退職金の引き上げが示されたものである。

☆曾於市議会の議決すべき事件を定める条例の制定について

(全会一致 可決)

地方自治法の一部改正により、総合計画基本構想策定義務の規定が削除されたため、同件を同法第96条第2項の規定に基づき、議会の議決すべき事件として追加するものです。

☆曾於市非常勤職員の報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

第6条第5項中「滞納整理指導官」の次に「市税等徴収嘱託員」を新たに加え条例を改正するものです。

☆曾於市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

ひとり親家庭医療費助成の対象者を拡大するものです。

☆曾於市子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数 可決)

子ども医療費の助成対象者の範囲を15歳に達した3月31日までに18歳までに拡大するものです。

☆曾於市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

長寿祝金は、平成25年度から75歳以上の市民全員に支給しているが、この祝金の名称を敬老祝金等に変更し、祝金の一部または全部を本市内で消費される地域商品券により支給することができるようにするものです。

☆曾於市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

肉用牛繁殖雌牛を貸し付けることにより肉用牛資源の確保を図るため、鹿児島県家畜導入事業実施要領に基づき、曾於市肉用牛特別導入事業基金を設置するもので、これまでの満60歳以上とする条件を廃し、最終償還時の年齢が80歳以下の者で肉用牛雌牛を曾於中

央家畜市場で購入したものとするものです。

☆曾於市笠木簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について

(全会一致 可決)

生活用水その他の浄水を市民に供給するため、水道法に規定する簡易水道事業として笠木簡易水道事業を設置し、給水区域は笠木地区、給水人口は800人、一日最大給水量は315m³で、この事業の受益者から分担金を徴収するものです。



意見書

☆TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書

TPPは、農林水産業のみならず、食の安全、医療、保険、ISDなど、国民生活に直結する問題であることから、国民に対する情報開示は必要不可欠である。交渉を主導してきた米国でさえも、自らの議会から情報開示を求められており、わが国でも早急に十分な情報を開示すべきである。

以上を踏まえ、政府に対し、TPP交渉において下記の事項を必ず実現するよう、強く要請する。

1. TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議や自民党決議を必ず実現すること
2. TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底すること

提出

内閣総理大臣ほか関係機関

平成 26 年度議会報告会開催

平成 26 年度の議会報告会を、本年も市内 3 地区にて開催します。

市政の課題と議会の活動状況等を報告し、市民の皆様の声をお聞きしながら、今後の議会活動に活かしてまいります。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日 時	会 場	班 構 成
5 月 21 日（水） 18 時 30 分～ 20 時まで	末吉中央公民館	1 班 (岩水 豊議員、大川内富男議員、大川原主税議員、 徳峰一成議員、八木秋博議員、山田義盛議員)
	大隅中央公民館	2 班 (上村龍生議員、宮迫 勝議員、今鶴治信議員、 久長登良男議員、九日克典議員、伊地知厚仁議員)
	財部中央公民館	3 班 (土屋健一議員、海野隆平議員、湊合昌昭議員、 原田賢一郎議員、坂口幸夫議員、泊ヶ山正文議員、 迫 杉雄議員)

住宅用太陽光システム設置事業補助金

750 万円

省エネルギーの推進と環境にやさしいまちづくりを進めます。(1回につき5万円)



太陽光システム

住宅建設費

2 億 5,875 万円

入居希望者の多い財部地区に新規団地を建設します。



前玉団地

メセナ住吉交流センター管理費

4,789 万円

快適な施設へと改善します。



空調室外機

クローズアップ 新年度予算

保育所運営費事業

9 億 9,714 万円

保育料の負担軽減を図ります。



太陽の子保育園

小学校施設整備事業

2 億 7,004 万円

体育館を耐震化し教育環境を整備します。



柳迫小学校体育館

平成 26 年度一般会計 209 億 4 千万円はこうに使われます

☆市民サービスのために 21億4,415万5千円
 議会費 2億 310万3千円
 総務費 19億4,105万2千円

☆生きがいと健康のために 81億7,148万1千円
 民生費 68億8,969万5千円
 衛生費 12億8,178万6千円

☆豊かなくらしのために 27億7,154万4千円
 労働費 517万8千円
 農林水産業費 25億1,312万3千円
 商工費 2億5,324万3千円

☆くらしと安全のために 30億 148万1千円
 土木費 22億7,702万0千円
 消防費 6億9,532万3千円
 災害復旧費 2,913万8千円

☆文化と教養のために 18億1,033万7千円
 教育費 18億1,033万7千円

☆返済のために 30億1,100万2千円
 公債費 30億1,100万2千円

☆備えのために 3,000万0千円
 予備費 3,000万0千円

会 計 名		26 年度 (当初予算)	25 年度 (当初予算)	前年比 (%)	被保険者数 (推計)
一 般 会 計		209 億 4,000 万円	218 億 5,000 万円	▲ 4.2	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	62 億 5,582 万円	61 億 6,674 万円	1.4	12,338 人
	後期高齢者医療	5 億 3,597 万円	5 億 1,305 万円	4.5	8,697 人
	介 護 保 険	50 億 7,558 万円	49 億 5,378 万円	2.5	13,747 人
	公共下水道事業	2 億 1,385 万円	2 億 4,990 万円	▲ 14.4	
	生活排水処理事業	1 億 1,331 万円	1 億 1,020 万円	2.8	
	笠木簡易水道事業	2 億 2,558 万円	—	—	

水道事業会計

項 目	26年度	25年度	前年比 (%)
収益的収入	5億6,105万円	5億5,070万円	1.8
収益的支出	5億2,635万円	4億8,681万円	8.1
資本的収入	0千円	0千円	0.0
資本的支出	2億2,073万円	2億2,033万円	0.1